

令和6年度 花巻清風支援学校第2回学校運営協議会報告書

1 日 時 令和6年10月8日(火) 10:00～12:00

2 会 場 本校会議室

3 出席者

- (1) 学校運営協議会委員出席 14名
- 会 長 企業関係者
 - 副会長 北上地区、福祉関係者
 - A委員 地域関係者
 - B委員 地域関係者
 - C委員 遠野地区、福祉関係者
 - D委員 行政関係者
 - E委員 学識経験者
 - F委員 企業関係者
 - G委員 福祉関係者
 - H委員 教育関係者 【欠席】
 - I委員 教育関係者
 - J委員 P T A関係者
 - K委員 同窓会関係者
 - L委員 同窓会関係者
 - 校 長 本校職員

(2) 本校職員 10名

4 学校運営協議会議事録

(1) 開会

(2) 校長挨拶

前期を無事に終えることができた。現在は、11月こたままつりに向けて取り組んでいる。また中学部、高等部は将来の就労に向け校内実習や現場実習といったキャリア教育に取り組む期間とも重なっている。

本日は昨年度から改善を進めている高等部作業学習の取り組みを紹介し、皆さまから意見をいただく機会としたい。

生徒は支援学校卒業後地域で生活し働く。その意味で支援学校生徒は地域を開発する中心となる大切な人材と確信している。充実した学校教育を今後も推進できるようお願いしたい。

(3) 会長挨拶

春に学校見学ができたことで学校理解につなげることができた。本日はプロジェクトの具体的な内容、実習の様子などの報告をいただく。今後より良い活動とすることができるよう課題についての相談があることを打ち合わせで聞いた。是非皆様からの知恵、助言、情報をいただきたい。

(4) 各分教室、寄宿舍紹介

画像、映像、パワーポイント資料を提示しながら紹介

【K委員】

遠野分教室小学部のNS授業とはどのようなものか。

【遠野分教室副校長】

遠野高校、遠野緑峰高校に配属されているNS（ネイティブスピーカー）の方が年に2回、小学部、中学部に来校し、英語の授業を行う事業。

【小学部副校長】

北上分教室や本校も高校に所属しているNS（ネイティブスピーカー）が来校し、指導をしていただいている。

【A委員】

NS（ネイティブスピーカー）は教育委員会で取り組んでいるものか。

【小学部副校長】

全県下で取り組んでいるもの。外国からきた先生が各学校に所属しながらNS、ALTとして来校いただき指導していただくシステムとなっている。

【I委員】

分教室の運動会や行事など小学校と一緒に取り組みがとても良い。行事の計画や練習など綿密な計画が必要と思うが忙しい中、小学校との打ち合わせをいつどのように行うか。

【小学部副校長】

分教室は小中学校の職員会議に副校長が参加し、お互い必要なことを確認、把握することとしている。また、学年会等にも必要に応じて参加している。

【遠野分教室副校長】

遠野分教室も必要な会議に参加している。計画がある程度出てきた段階でそれぞれ学年の担当が時間をつくり打ち合わせを実施している。

【会長】

中部病院北上分教室の在籍について対象エリアがあるか知りたい。

【小学部副校長】

中部病院に入院しているすべての子どもが対象となる。

【A委員】

職員2名体制だが在籍人数が多いとき、またはゼロのとき勤務体制はどうなっているか。

【校長】

在籍者0という期間もある。その期間は、みなみ分教室や本校勤務となる。これまで入院数急増ということはなく対応できている。

現在、受験を控えた中学3年生1名在席中。授業する教員の所有免許の関係で5教科の授業を行い評価している。そのほかの教科は免許外であるため補助授業というおさえて実施しており、補助授業については評価できないということになっている。受験に際し生徒の不利益が生じないように前籍校と確認しながら実施している。

【K委員】

自分の子どもが寄宿舍在籍中に三者面談(学級、寄宿舍、保護者)がなかった。いつ頃から始まったか。良いことと思うので今後も是非継続してほしい。

【寮務主任】

令和四年度から現担当になった。そのときは既に実施していた。三者面談に限らず登下校時も生活の様子や排せつ状況等についての申し送りを行いながら情報共有に努めている。

【G委員】

寄宿舍の入舎基準を知りたい。話は遡るが本校や分教室への入学基準も併せて教えてほしい。

【校長】

寄宿舍入舎基準は自宅が遠方で通学困難な状況にある家庭を最優先としている。本人や寄宿舍全体の安全担保できるかといった視点も併せ判断する。

入学は知的障がい有していることが基本となる。判断に当たってはIQ数値や療育手帳の有無等を参考にしている。そのほか生活の様子等、様々なことを鑑み総合的に判断している。

他校の例だが支援学校入学後に高校再受験した例もあるため複数回の見学や相談を勧めている。本校の教育課程が本人に合う学びか、本人や保護者はそのことを十分に理解し、納得して選択しているかということも考慮する。

【B委員】

消防分団に所属していたとき消火栓からの水汲みあげ、放水といった訓練を行い子どもたちにも見せていた。見せることも防災教育の一環で大切と思う。今後、考えてみてはどうか。

家の前を子どもたちが歩いているのを見掛けることがある。どこに何をしに行っているのか。

【寮務主任】

学校、寄宿舍どちらの時間帯で見かけたか不明だが体力づくりや気分転換目的に昌歆寺や太田神社まで散策することがある。

【A委員】

以前は高村山荘やキャンプ村に向かって歩く様子を見掛けたが最近はほとんど見掛けないが熊等の出没が理由か。

【寮務主任】

鳴物を持つ等の対策をして散策に行くこともあるが頻繁には行けていない。

【A委員】

昨年は熊が頻回に出没し駆除した数も多かったのかもしれない。今年は出没の話をもっと聞かない。散策すれば地域の人と出会い、挨拶を交わすといった交流にもつながるので安全確保した上での再開を期待する。

～ 10 分間休憩 ～

(5) 高等部作業学習の取組について

令和5年度は準備期間、令和6年度は試行期間としている。

ここまでの取組を画像、映像、資料提示しながら高等部主事から説明。

○高等部魅力化プロジェクトに際して学部で確認してきたこと。

- ・教育を地域社会と共有し進める。社会に開かれた教育課程の実現を目指す。
- ・学校を核とした地方創生に取り組む中で生徒が自分の生き方や在り方を考えていけるように進めていくこと。取り組みは作業学習を軸に取り組むこと。
- ・生徒、保護者、地域、職員それぞれの立場からの視点をもちながら取り組むこと。
- ・従来の作業班を6課再編成し一つの会社と見立てて組織化したこと。ロゴを花巻市在住デザイナーと共同制作する過程を通して一つの会社という意識が生徒や職員に芽生えてきたこと。

○各作業課取組状況について

【アグリ課】

- ・ベルグアース（東和町）から苗提供を受け校内の畑で作物栽培中。
- ・もんのすけ農園への農作業手伝い実施予定。

【食品加工課】

- ・保健所による食品取扱者衛生管理指導実施済。
- ・花巻市農政課への相談を経てドライアップル製造開始。食品乾燥機購入し、使用に係る職員向け指導やアドバイスをいただいた。生徒向けも計画する。
- ・上町でコーヒー店経営 Fishman コーヒーの協力を得ながら自家焙煎コーヒードリップパック作りや清風ブレンドコーヒー作りを計画中。

【木材加工課】

- ・小友木材店の協力を得て森林や林業を知る校外学習を実施済。今後も共同事業を計画、調整中。
- ・県南広域振興局、わんこ兄弟作者（小笠原さん）と共同で商品開発を計画中。

【手仕事課】

- ・高源精麦から紙すき原料の楮提供を受けている。和紙作り、染物（大迫町かんたはうすの協力を得てぶどう染めを計画中）等の製品化に取り組む予定。

【ロジスティクス課】

- ・みちのくコココーラと連携。自動販売機の管理等について指導を受けながら取り組み中。
- ・イオンアグリ農園からの受注ラベル貼りに取り組み中。

【クリーンサービス課】

- ・清掃技術を校内で学び地域への出張清掃に取り組み中。

(6) 協議『高等部作業学習の取組について』 ※進行【会長】

ア 作業学習の広報の在り方について

【会長】

広報の在り方と販路が協議題に挙げられた。作業課取り組みの情報発信を積極的に行いたいと個人情報公開について年度始めに確認しているが公開しないと回答する保護者が多い。一方、生徒は情報発信の取り組みにも意欲的であったりするようだ。情報公開の現状や思うことについて意見をいただきたい。

【J委員】

高等部の先生方が熟慮の結果、作業課改編がなされた。試行期間だがここまで作業学習に取り組む息子の様子が変わってきたことを保護者として実感し大きな成果と感じている。先週から現場実習が始まり午前午後2時間ずつ一日中シール剥がしに取り組んでいるが、できることがたくさんあるのにシール剥がしだけの実習にストレスを感じているようだ。もっと様々なことに取り組ませてもらいたいという思いがある。学校の先生方には自信をもって様々なことに取り組ませてほしい。

個人情報を守られなければならない法律であるが一方では難しさも感じている。作品展では表彰を受けた作品に個人名がなく学校名だけという例をみた。

情報公開の意思表示が可否の2択であるとき否が多くなることは心情的に理解できる。広報活動に際しては、かみくだいて説明することで次につながっていくものと思う。意思確認も年度始めだけではなく途中での実施も検討してはどうか。

【L委員】

取組の報告を聞き、この学校を卒業した20代、30代の自分の子どもも、今、清風に入学させることができたなら違う芽も出たかもしれないと思えるほど、わくわくした思いをもった。自宅は学校に近いので何年後か私にもできることがあれば協力したい。

【会長】

情報公開に関する調査時期や回数に工夫の余地があると感じた。先ほど拝見した映像も保護者に提示することで同意に関する回答も変わる可能性が大いにあると感じた。

【会長】

製品販路の協議に移る。こたままつりでの販売が大きな目的の一つと思うが食品系製品は消費期限との関係もあると思う。食品系製品の販売時期の現状や考えについて知りたい。

【高等部主事】

作業学習は1年通じて取り組む。食品加工課とすればりんごを扱うにもその適切な時期がある。そのためりんごを扱えない時期としてコーヒーを考えた。

【会長】

観光協会、商工会議所、ロータリークラブ等と関わっているが「地物」「地域資源」といったワードがポイントになる。「道の駅」の活用はどうか。

【J委員】

製品販売会時の場所借用は継続している。作業学習で製品づくりに取り組んでいるため製品不足が生じた際、速やかに補充するという要望に十分に答えることができない等の理由があり「みちのえきとの契約を終了した。

【B委員】

報告映像をみて素晴らしい製品がたくさんあることを知った。製品ごとの販売スパンを考える等の工夫をして年間通じて販売できるようにしてはどうか。受け入れ側としても助かる。

【A委員】

詳細を存じてないが数年前の利用で学校も苦労したと聞いた。そこから利用が止まっているのであればこの会にはみちのえきの役員がいるのだから今後も相談を継続し考えていくのがよいと思う。

【会長】

商品補充も仕事である。製品づくりチーム、補充チームといった考えもあると思う。

【高等部主事】

棚を空けることがないよということに難しさがある。補充も仕事として取りませたいが他学部や分教室があるなかスクールバスが1台しかない。スクールバスの利用調整等、検討事項が生じる。時間をかけ検討していく。

【会長】

土日の販売は難しいと思うが花巻祭りで販売したいということがあれば清風支援学校の販売ブースも用意できる。観光協会、商工会議所、ロータリークラブ等から販路はいつでも紹介できる。今後も相談の機会を設けたい。

【E委員】

ホームページ閲覧の時間が増えた。学部の様子、進路だより等、とても充実している。製品購入できる場所等についても情報発信することで充実度があがると思う。

「フラワーカンパニー」と生徒が英語にこだわったこと、社訓があること、ロゴ制作したこと等々、どれもとてもよい取り組み。あとは社歌ができるのではないかとと思うくらい。どの取り組みもしっかり継続してほしい。

【K委員】

「明るく 強く たくましく」の校訓の元、本校に通う児童生徒の障がいや学びの状況は様々であり、幅は広い。フラワーカンパニーという会社組織の一員という目線はとても大切だがそのほかにも、一人も取りこぼさないという視点もしっかり意識しながら取り組みを継続してほしい。

(7) 諸連絡

- ・第3回協議会日時について

令和7年2月18日(火) 案内は1月予定

学校評価(報告)、地域連携(報告)、次年度の学校経営(案)等について

- ・後日、議事録郵送。確認し、修正の必要あればお知らせいただきたい。
- ・協議事項について追加意見等があれば併せてお知らせいただきたい。

【A委員】

議事録について質問がある。発言者への確認は県教育委員会の指示により全県下で統一されているか知りたい。

【小学部副校長】

すべての学校が同じ手順で提出するきまりとなっている。確認方法は各校に任されており本校は委員各自に郵送し、確認していただくこととしている。

【A委員】

詳細な文字起し、委員全員への確認という手順は丁寧で間違いがないと思うが時間も相当かかる。一任したいと思うがどうか。

※多数の委員から「異議なし」の声。

【小学部副校長】

各委員への確認は継続するが議事録は要点を捉えた議事録に変更する。

(8) 閉会